



米国発の全世界金融不安を受け、今後数年に渡り本県歳入の根幹をなす法人二税の大幅な歳入不足が予想されます。21年度予算編成において約2000億円が不足することが知事よりあきらかにされました。

平成20年度の県税収入見込みも、当初予算額に対して200億円以上の減収となることが報告されています。9月には、知事を本部長とする緊急財政対策プロジェクトチームが設置されました。県有財産の売却、新規公共事業の凍結、事務事業のスクラップアンドビルド、真に求められる事業の選択と集中をはかり、予算編成が進められています。今後、議会の審査能力が一層問われる事は間違いありません。

**緊急提案！  
「知事等の特別職の給与減額」**

知事給与の20%と副知事給与の15%を来年度から2年間削減する事が決定しました。来年度の厳しい財政状況を勘案した知事の判断です。現在、民主党かながわクラブ県議団においても議会費を見直すためのプロジェクトチームを発足させ、議員の期末手当削減や視察の凍結等歳出削減を決定しました。

**議員提案！  
「神奈川県議会基本条例」が  
全会一致で可決**

約10ヶ月間に及び議論を重ねてきた、「県議会基本条例」が可決されました。三重県、福島県、岩手県に続く、全国4番目の制定となります。

条例は、議会の透明性確保や県民参加の促進、知事の反問権を認めるなど、議会活性化の指針が盛り込まれた議会の憲法となります。

**都道府県初の  
「自治基本条例」、  
全国初の  
「犯罪被害者等支援条例」  
が提案**

自治体として先進的な条例が提案されるも、自民党などの多数により継続審査となり、制定には至りませんでした。自治基本条例では県民投票の実施における市町村の理解不足、犯罪被害者支援条例では、条例を推進する計画の不備などが継続審査の理由。

住民の県政参加促進、犯罪被害の救済のためにも条例が早期制定されることを求めます。

**「公共的施設における  
受動喫煙防止条例(仮称)」  
及び「地球温暖化対策  
推進条例(仮称)」の素案が  
議会提出**

松沢知事が選挙公約にあげた先進条例「ローカルルール11」の審査が大詰めを迎えています。

本条例が提出されるまでの間、県常任委員会では数回の議論する場があります。(骨子案→骨子→素案→条例案提出)

この事は、逗子市議会議員時代では事前審査のそしりを免れず、県議となって驚いた事のひとつです。条例の制定までに時間はかかるものの、条例提出後、修正案を提出するよりも議員の意見が反映されやすいと考えています。

実際、私が提案して条例に反映されたものもあり、定例議会閉会中も毎月常任委員会が開催される県議会だから実行できると考えます。

松沢知事は、いずれの条例案も年度内(2009年2月定例会)の成立を目指すも、慎重審議を求める声も多く成立は微妙となっています。

**編集後記**

9月中旬から、継続的に議会が開催され、この他にも特別委員会の県内外の調査や常任委員会の視察、県議団では条例提案のプロジェクトリーダーにも抜擢され、県庁に通い詰める刺激的な毎日でした。

2009年も積極的な情報発信、情報共有につとめてまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。



**「近藤だいすけに物申す会」を開催！**



県議となつてから1年半が経過しました。逗子葉山と二つの行政区で一人しか選出されない重責を日々痛感しています。

地元のみちづくりの課題をはじめ、県政に対する有権者の皆様のお話を徹底的にお聞きするため、小規模な意見交換会を開催しています。

逗子市葉山町にて特区提案、地方分

権と税源確保、住環境保全について相続税等の政策要望、三浦半島中央道の事や逗葉新道無料化、海岸保全、行財政改革など多様なご意見を頂きました。

今後も開催をしていきますので、皆様のご参加をおまちしております。

近藤だいすけ

vol.4

think & act

県議会ニュース

2009年2月11日発行第4号  
配布地域：逗子・葉山 発行部数：45,000枚

08年度最終局面  
神奈川県政の  
年度中盤からの  
総括報告！

一般質問 知事・教育長 vs 近藤だいすけ



9月定例県議会では、当選後2回目となる一般質問の機会を得ました。

逗子市議会議員の頃は、毎定例議会ごとに首長に対して一般質問を行えたのですが、神奈川県議会では各会派の議員数に応じて一般質問回数が決められるため、本会議場に登壇する機会を得るのも限られます。

非交渉会派(8人から交渉会派)の議員は、4年に1度しか一般質問の機会がない事を考えると、当選後1年半で2回登壇できたのは恵まれていると自分に言い聞かせています。

質疑と答弁あわせて約1時間の限られた時間の中で、大きく分けて4項目の質問をしました。

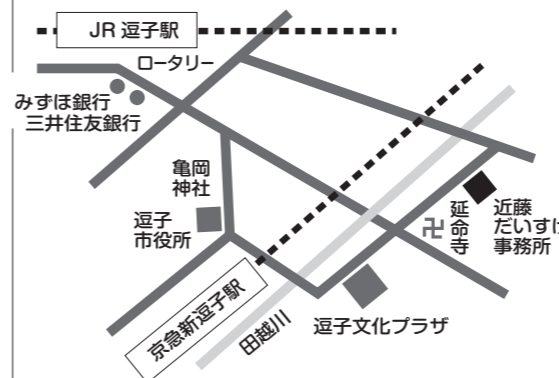
議会ニュース vol.4 目次

- p1~3... 一般質問  
知事・教育長 vs 近藤だいすけ
- p3 ... 決算特別委員会報告
- p4 ... 12月定例県議会報告  
「近藤だいすけに物申す会」を開催

県議会報告

9月16日から10月14日の日程で9月定例議会が開催され、10月16日から11月14日の間は決算特別委員会、11月20日には常任委員会の開催、12月1日から12月18日の間で12月定例議会が開催されました。

近藤だいすけ事務所  
〒249-0006 神奈川県逗子市逗子3-6-7  
TEL/FAX: 046-873-8744  
E-Mail: office@kondo-daisuke.jp



- 近藤だいすけ プロフィール
- '69 12月26日生まれ 39歳
  - '82 サウジアラビア ジェッダ日本人学校卒業
  - '85 逗子中学校卒業
  - '88 追浜高校卒業 環境団体役員 ラジオパーソナリティ
  - '98~'06 逗子市議会議員(3期4選)
  - '02~ 逗子市長選チャレンジ
  - '07~ 神奈川県議会議員



家族：妻(長男)9歳、長女(6歳)  
趣味：釣り、音楽鑑賞、料理

最新情報はホームページをご覧ください。

www.kondo-daisuke.jp

## topics1

# 地球温暖化対策を強化せよ!



①「地球温暖化対策推進条例（仮称）」の年度内策定を目指す知事に対して、条例を実効性あるものとするため、実行計画をあわせて策定するように提案。

**知事からは**、市町村などと連携・協力した県全体の温室効果ガスの削減の取り組みの実施や、国が、「温暖化対策の中期目標を今年のものにするべき時期に発表する」としていることから、「戦略的な取り組みを進めていくための計画を策定していく」と答弁を得ました。

②横浜市の設置する大型風力発電施設など持続可能な自然再生可能エネルギーの普及・導入を提案。

（みなとみらい地区の大型風力発電施設「ハマウイング」は、約 850 世

帯の電力を供給、総事業費約 5 億は国の補助と市民参加市場公募債で構成し、市債償還に売電収入などを充てている）

**知事からは**、PR 効果もあることから理解を得ましたが、県内適地が丹沢、箱根、三浦半島に限られ、景観保全や鳥獣保護にも配慮が必要なことから、まずは太陽光発電を中心に自然再生可能エネルギーの普及に取り組むとの答弁でした。



## topics3

# 外国人労働者の受け入れについて

神奈川県は 2019 年をピークに減少に転じることが予想され、既に生産年齢人口は 3 年前より減少に転じています。国では生産年齢人口の減少に対し、東アジアより外国人労働者を受け入れて対応する準備を進めており、08 年 7 月には EPA（日本とインドネシア

の二国間経済連携協定）により看護師と看護福祉士候補の受け入れが始まりました。現在、約 200 人の方が来日し研修を受け、春からは神奈川県内の病院でも受け入れがスタートします。今後 2 年間で看護分野だけでも 1000 人を上限に日本全体で受け入れが合意されていることから、本県における外国人労働者の受け入れ態勢について質しました。



## topics4

# 子どもの未来のために

県では学区制撤廃を 17 年度に行い、生徒たちは学校選択の幅が広がりました。教育委員会では、生徒のニーズに応じた特色ある学校づくりを多様に進めており、野球やサッカー、演劇や吹奏楽など部活動を特色として認め、様々な支援を行っています。しかし、その多くは運動部

への支援であることから文化部の支援強化を求めました。

あわせて、特色ある学校づくりは、現場のマンパワーによるところが大きく、特色とするのには時間がかかる為、現在の「同一校継続配置 10 年」という教職員人事の見直しを提案しました。

## 私近藤は

国になどによる自然再生可能エネルギーの高価買取などを求めるなど、自然再生可能エネルギーの普及について引き続き県議会で訴えていきます。

フランス視察において、国が自然再生可能エネルギーの高価買取の長期保証（約 20 年）をする事で、民間活力（設備投資を 7～8 年の売電益で完済後、収益に！）による自然再生可能エネルギーの導入が急ピッチで進められる現場を目の当たりにしました。

フランスでは、2015 年までに総エネルギー供給量の 20% を自然再生可能エネルギーにする事、視察先のペルピニャン地域（186 ㎢人口約 14 万人）では同エネルギーを 100% 以上にするという極めて挑戦的な目標が実現可能であると感じました。（写真はハマウイング）

**知事からは**、外国籍県民の方に対する労働相談に止まらず生活相談・法律相談窓口の強化を検討するとの答弁をいただきました。

## 私近藤は

国の方針から、今後も外国人労働者の受け入れが進むと考えます。

**この事は、労働環境の支援に止まらず、医療・福祉・教育など様々な行政事務の見直しが必要となります。外国人の生活を支えるのは県をはじめ基礎自治体であることから、国からの財政的支援や情報共有を求めます。**

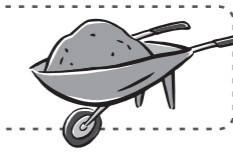
**教育長からは**、「かながわ部活ドリムプラン 21」を見直し、文化部支援強化の約束を得ました。

人事についても、「一律に 10 年で移動を実施することは、特色づくりや部活の継続性に影響が出ることも考えられる」と弾力的な人事対応と人材育成や研修強化の約束を得ました。



## topics2

# 廃棄物処理対策について



①「ポップアウト現象」が問題となっている、廃棄物を溶融したスラグを建設骨材として生コンクリートに混ぜた、建築基準法違反工事（69 件）に対する県の対応と、スラグの資源化・再利用を進める県の今後の対応などを質しました。

**知事からは**、溶融スラグが混入された JIS 規格外の生コンクリートを使用した建築物に対しては、強度検査、補修措置を講じる様に指導し、安全性確認をするなどの約束を得、チェック体制の強化や業界に対して再発防止を要請する答弁を得ました。

## 私近藤は

溶融スラグは焼却残渣など廃棄物に由来し生成されるため、重金属をはじめ様々な化学物質が閉じ込められていることから、スラグ利用は極めて慎重に行うことと、最終処分場で管理保存することも求めましたが、「JIS 規格を満たしていれば問題ない」とゼロ回答でした。

スラグは土壌改良材や道路の路盤材としても利用されているため、品質管理を徹底するなど安全性を第一に、有害物質の拡散に繋がらない対策の強化が必要です。

②「廃棄物県内処理 100%」を挙げ

# 「決算特別委員会」

12 月 9 日（火）平成 19 年度に事業執行された神奈川県予算の歳入歳出決算が、賛成多数で認定されました。



平成 19 年度は、年度前半の法人税収が堅調であったことや所得税から個人県民税への税源移譲などにより、県税収入は 1 兆 2805 億円という過去最高の税収規模となりました。しかし後半より金融不安や、原油・原材料の高騰などの影響を受け、本県税収の根幹をなす法人税収が伸び悩み、最終決算では、予算額を 3 億円下回るという歳入欠陥となりました。

法人税は大きな税目でありながら的確な税収の見積もりができない事に、県財政運営の難しさがあります。

歳出面では、神奈川力構想・実施計画や水源環境保全・再生 5 力年計画のスタートの年として様々な新しい取り組みが開始された年でありました。

## 「決算特別委員会」近藤質疑項目

与えられた時間は約 1 時間、神奈川力構想「重点プロジェクト」を中心に、年度ごとの目標進捗状況、費用対効果、事業対効果、来年度予算への反映などについて質問しました。

**1（財）かながわ廃棄物処理事業団及びかながわ環境整備センターの運営状況について**

…県の関与する第三セクターの財政状況をとらえ、県負担金の見直しや経営改善について質しました。

**2 市町村地震防災対策緊急支援事業について**

… 21 年度までの時限事業ですが、市町村の地震防災対策の遅れを指摘し、事業継続を求めました。

る神奈川県。実態は総最終処分排出量 146 万トンのうち 111 万トンが海洋投入、県外処理が 30 万トン、県内処理はわずか 5 万トン！

今後、高度経済成長期の建築物が更新時期を迎え、建設廃棄物が増加することが予想されるため、廃棄物の資源化・減量化・適正処理を一層進める様に求めました。

**知事からは**、平成 27 年度には建築物の更新に伴い、排出量は現在の 1.7 倍に増加することが明らかにされました。

県は、建設リサイクル法による事業者の取り組みを一層促すことと、「県有施設長寿命化指針」と同様な取り組みを民間に普及させ、建築物の長寿命化により建設廃棄物の発生抑制を進めると答弁を得ました。

## 3 原子力災害対策について

…本県には原子力発電所はありませんが、横須賀市と川崎市に核燃料加工施設と研究所があり、昨年の原子力空母配備も踏まえ、緊急事態に対処する体制強化について質しました。

## 4 自主防災活動に対する支援について

…県内の刑法犯認知件数は、ピーク時の平成 14 年度と比較して 11 万 2 千件と半減するも、実感として改善が感じられるまでには至っていません。実施計画では平成 22 年度までに 9 万件台までに減らすという目標があることから、警察などの取り組みとともに、県民自らが地域を守るという自主防災活動の支援制度充実を求めました。

## 2 月定例県議会のお知らせ

新年度予算や先進条例の審査が行われます。2 月 16 日～3 月 24 日。皆様の傍聴をお待ちしています！

ご近所へ議会ニュースのポスティングなど、近藤の活動をサポートして下さる方、大募集中です。TEL・FAX・E-MAIL でご連絡下さい。よろしくお願い致します。

ボランティア大募集